

会 議 記 録

会 議 名	第五次和光市総合振興計画検討委員会(経営部会)
開 催 日 時	令和2年1月15日(水) 午前10時00分～午前11時30分
開 催 場 所	市役所3階 庁議室
次 第	1 開会 2 報告 (1) 計画の構成について 3 議事 (1) 「計画の実現に向けて」について 4 その他 5 閉会

1 開会

2 報告

(1) 計画の構成について

事務局説明

9月の第2回検討委員会にてご報告させていただいた内容と考え方は概ね同様ですが、本日の経営部会における検討の参考として、改めてご説明させていただきます。

資料1の第五次和光市総合振興計画の構成につきましては、第四次総から大幅に構成を見直しています。

まず、第1章としてまちづくりのコンセプトを示します。現在パブリックコメント中の構想骨子で示した将来都市像と市民生活の目標像のほか、本市のまちづくりの方向性をマップに落とし込んだまちづくり構想図を示すことを検討します。

第2章では、第1章で示した市民生活の目標像のそれぞれについて、現在パブリックコメント中の構想骨子の「どのような姿を目指したいのか」や「主要な課題」のほか、まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定が求められているKPI、和光100年まちづくり会議で示される予定の市民ができることを掲載したうえで、現在検討委員会の総務環境部会、文教厚生部会のそれぞれで検討を進めている個別施策を掲載します。

そして、第3章が本日の経営部会で審議をしていただく部分になりますが、計画の実現に向けてということで、行政経営や財政計画などについて触れていきます。市民参加や行政経営などについては、四次総の際には、「構想の推進に当たって」として施策と同列で整理されていたものですが、位置づけを見直し、この章で取組の方向性を示すことを検討しています。

最後に第4章として、計画の前提条件について示します。四次総においては、計

画の冒頭で記載されていた策定の前提条件について、後ろの章で示すことを検討しています。

こちらは、市民への周知を見据えて、コンセプトなどのメッセージをはじめに伝えられるようにした構成とすることを意図しており、細かい前提条件などについては、より関心を持った方に見ていただくというような考え方に基づいています。最近の他市の総合振興計画では、概要版として読本形式とってこのような順序での構成とする例が多いのですが、そうした発信も見据えて、計画本体の段階でそうした順序としているところです。

それと同じ考え方で、「総合振興計画について」として示す計画の位置づけに関する説明などについても、後半部分で関連性が深い第三章の冒頭に置いています。

【意見・質問】

・「第3章計画の実現に向けて」に「6. 財政計画」の記載がありますが、四次総の際は計画の前提条件に入っていました。今回主要な投資的事業を含めた形で財政推計を作っていますが、総合振興計画の事業全てを見込んではいないため、第3章に入れると、全ての事案に財政的な裏付けがある印象を与えてしまうと思います。

→ 第1章に掲載する場合、まちづくり構想図に示す主な事業に対応したものを財政計画に織り込んだ内容を記載できると思います。第4章の場合、四次総と同じ位置付けになると考えています。第3章に記載したのは「第2章目標像と個別施策」の内容を受けたものと位置付けるという趣旨です。この部会での意見を踏まえ、検討させていただければと思います。

→ 行革や持続可能な行財政運営を進めていくために実施すべき内容について第3章に記載されています。

・「財政の見通し」のような言葉の方が適切だと思います。

・第4章に計画の前提条件が入っていますが、「第四次市総合振興計画における主な成果」を抜粋するだけでなく、大きな流れを踏まえるものとするべきだと思います。

→ 第2章の「現状と課題」と同じ内容の構成になってしまうと思います。

課題については第1章と2章で触れる予定です。計画の前提条件として歴史的経緯についても大局的観点で触れるべきだと感じたので、第4章を作り込む過程で検討していきたいと思います。

・前提条件は計画を作りこむ前で、その後に個別施策が記載されると思うので、第4章にあると違和感があります。最初に掲載すると良いと思います。

→ 前提条件を後に掲載する事例は少ないですが、概要版を分かりやすく示すという観点で、詳細の本編に移行した場合も同じ形式にしたほうが良いのではないかと考えました。

・概要版は読みやすさ重視だと思いますが、本編の前提条件は前に掲載すべきだと思います。作り込んでいき、違和感が生じたら修正するという形で良いと思います。

→ 市民向けに作成しているため、興味を持ちづらい部分から入ってしまうと、読んでもらえないのではないかと懸念があるので、肝要な部分を冒頭に掲載するというコンセプトがあります。「第4章計画の前提条件」というタイトルが違和

感があると思うので、別のタイトルを付けることも可能ですが、社会潮流や市民意識調査ではどうなっているかなどの資料的要素が多い章のため、最後に記載しています。四次総を引き継がない形で、構成についても大幅に見直して、市民に読みやすい内容を考えています。なお、構成の流れなどについては審議会等で了承済みです。

3 議事

(1) 「計画の実現に向けて」について

事務局説明

それでは、「計画の実現に向けて」の叩き台についてご説明させていただきます。あくまでも叩き台ですので、この部会の場にて忌憚なきご議論をいただければと思います。

まず、2ページ目につきましては、総合振興計画の位置づけ等について整理しております。

(1)計画の位置づけでは、策定根拠などを示しています。(2)計画の期間では、計画の期間及び中間見直しを行うことを示しています。(3)では、まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係性を示しています。これらについて、図で示したものを下に掲載しております。(4)総合振興計画と個別分野計画の関係について、関係図を作成して掲載することを予定しています。

次に、4ページの計画の推進についてですが、計画の推進に向けた考え方や行政評価の考え方を示しています。

基本的には、令和元年度に見直した実施計画や行政評価の考え方を明文化したものとなっております。

5ページ・6ページの「3 市民参加のまちづくり」「4 行財政改革の推進」「5 さまざまな連携によるまちづくりの推進」につきましては、四次総の「構想の推進に当たって」にて、方針66から方針77として、施策と同じような形で、「目的-課題-取組内容」を示したものを引き継いだものです。方針66から方針77に含まれていた市民サービス関連のものについては、総務環境部会や文教厚生部会で検討している個別施策に移行しており、内部事務関連のものが第3章での対象となっております。

最後に7ページの財政計画については、個別施策調書と併せて各課から提出いただいた財政推計算出資料に基づき、行政経営会議にて策定しておりますが、それが取りまとめ次第、こちらに掲載いたします。

【意見・質問】

・四次総の「構想の推進にあたって」の部分で方針や取組で施策を記載していました。五次総における「第3章 計画の実現に向けて」の章立ての中には「1 総合振興計画について」と「2 計画の推進について」と「6 財政計画」はトーンが違う印象があります。「3 市民参加のまちづくり」から「5 さまざまな連携によるまちづくり」は管理部門が担っている業務だと思います。

→ 目標像の個別施策を踏まえ、計画を推進するカテゴリーとして一体のものと考

えています。

- ・資料2の2ページから3ページのボリューム感であれば、第1章の前に「総合振興計画について」を掲載しても違和感はないと思います。

- ・「1 総合振興計画について」と「2 計画の推進について」は計画のマネジメントについて記載させているため、移動させるべきだと思います。

→ 検討します。財政計画は実現に向けた取組のため、人口推計とは性質が違うものだと考えています。

- ・財政計画については、計画の背景の一つとしてまとめるのも良いと思います。

→ 四次総の財政推計は、現在の中期財政計画と同じような形で投資的経費を積算しています。五次総の策定方針では、財政的な裏付けのある計画と方向性を掲げている中で、各課の投資的事業について10年間の歳出額や特定財源を算出した上で財政推計を行います。歳出ベースで積算される場合、前提ということではないと思われま

- ・財政推計は現時点の10年間の財源の見通しであって、毎年度ローリングするものではないため、計画実現を担保するための推計ではないと思います。

- ・財政推計に重点の置いた計画策定ということであれば、別章立てで掲載することも一つの方法だと思います。

→ 「2 計画の推進について」は実施計画や施策評価、事務事業評価などの計画を実現するための手段なので、第3章に掲載すべきだと思います。予算付けすることが事業を推進することの根拠として、市民参加や行革、国の機関との連携を行うものと、同じ章に掲載しても違和感はないと思います。

→ 管理部門という観点だと、「2 計画の推進について」は政策課の担当のため、2から5が性質的に近いものだと思います。2について掲載するにあたり「1 総合振興計画について」が近くないと理解しづらいと思うので、順に並べています。

- ・1から5までを「第1章 まちづくりのコンセプト」の前に移動し、6を「第4章 計画の前提条件」に移動すれば違和感がなくなると思います。

- ・将来都市像は冒頭でも良いと思います。第2章の個別施策の課題は各施策の課題のため、まちとしての課題を大枠で捉えてから個別施策に入ることが自然な流れだと思います。

→ 基本構想を策定するという法律上での要請がない中で、和光市らしい計画の策定を目指しています。・四次総の形に戻した場合、五次総における意図が伝わらないと思います。

→ 第1章と2章で実際何を実施するのかを掲載し、実現していくという観点をまとめたのが第3章です。一部を歳出として反映している財政推計があるので、「計画の実現に向けて」として整理しています。

- ・第3章の最初の文面が本編の冒頭に書かれているような印象があります。流れとして第3章に書かれていると分かるようにすると良いと思います。

- ・四次総では地名の由来や憲章、市の花等が掲載されていましたが、今回はそちらについて議論されていません。・四次総では、施策評価を毎年度実施していましたが、→ 五次総の施策評価を行う目的は、今後事業を進めてきて結果どうだった

かは、5年に一度の中間見直しを活用するために行うという提案です。

- ・実施計画策定後、予算編成で予算を切られてしまうと各課の対応が大変だという意見を受けています。今年度より実施計画は政策実行計画のみになったので、予算への反映にあまり意味をなさないと感じました。新規事業等について、実施計画で実施の判断をすべきだと思います。

- ・行政経営方針については掲載しますか。

→ 政策課と財政課で協議を行い、再度検討します。

- ・実施計画を市長任期に合わせた4年間にしたことや、政策実行計画は市長のマニフェストから落とし込んでいることを書き表せていない部分があります。

→ 政策実行計画は市長公約のみでしたが、今年度策定した実施計画は、市長公約以外でも市の重点的な事業について位置付けるという観点で整理しています。

- ・「3 市民参加のまちづくり」の「(2)市民協働の推進」で五次総では協働自体が個別施策に位置付けられていますが、こちらにも掲載しますか。市民参加と協働がイコールな印象を持たれる可能性があります。「3 市民参加のまちづくり」という表題を変更をご検討いただければと思います。協働については市民と行政が四次総ではメインの考え方でしたが、現在は市民だけではなく企業や学校など和光市に関わる人同士が繋がれば協働と認識しています。「5 さまざまな連携によるまちづくりの推進」に入る内容だと思います。もしくは「3 市民参加のまちづくり」に入れる場合は、下に表などに市民の定義についての説明文があると良いと思います。

→ 全体的な考えに入る範疇にあるので、取り上げさせていただきました。

- ・「(3)広聴活動の推進」の「市民ニーズに対応した行政運営」が大きすぎる印象があります。「広聴活動を推進します」はいかがでしょうか。

- ・「(4)情報公開の推進」の「市ホームページなどを通じて市政情報を積極的に公開していく」は広報の内容だと思います。

→ 情報開示条例にも積極的に公開していくと記載されています。

- ・市ホームページや広報誌は市の情報を知る最も重要なツールなので、広報について掲載すべきだと思います。

→ 「(3)広聴活動の推進」に「市ホームページなどを通じて市政情報を積極的に公開していく」を移動させても良いと思います。

- ・「4 行財政計画の推進」の「(3)市民の期待に応える職員の育成」ですが、内容が人材育成についてではないと感じました。

→ 行革推進という内容のため、職員の意識改革という内容です。

- ・市有施設を民間の資金を引き出し、収益を得るような手法についての表現を記載すべきでしょうか。

→ 「(2)持続可能な財政運営」の歳入の確保に該当する内容だと思います。

- ・「5 さまざまな連携によるまちづくりの推進」の「(1)国の機関などとの連携」は企業連携も含まれると思うので、加えるべきだと思います。

→ (1)を市民協働の推進にして、その下に公民連携と各論として国の機関とすると良いと思います。

- ・「(2)広域行政の推進」の中で国について加えるべきだと思います。

4 その他

事務局説明

本日いただいたご意見を踏まえて修正した案で、2月19日の部長級による総合振興計画策定委員会に素案を提示いたします。

経営部会につきましては、本日の開催のみとなります。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

【意見・質問】なし

5 閉会